公益財団法人　埼玉県剣道連盟『広報誌』

剣風

事務局　〒330-0074
さいたま市浦和区北浦和5-6-5
浦和合同庁舎４階
Tel (048)834-8869
埼剣連 HP ▶

第24号　令和７(2025)年９月１日発行　　（題字　元会長　野澤 治雄）

会長就任挨拶

公益財団法人埼玉県剣道連盟　会長　栗原　憲一

令和５・６年度では会員の皆様の御協力により、本連盟の事業を無事に終わらせることができました。本年は理事改選の年にあたり、引き続き令和７・８年度の会長に理事会で選定され就任致しました。

昨年、本県は全国大会において選手の素晴らしい健闘や熱心な強化指導の成果があり、好成績を上げることができ「強い埼玉」の姿を全国に示しました。また一方では、幼少年から高齢者までの男女全ての「剣道、居合道、杖道」の愛好者が真剣に楽しく実践することで自身の生活の活力となるような「楽しい剣道」を継続し稽古を行なっていただいています。特に、本連盟では令和６年度に女子委員会を設置し活動がスタートしました。委員会が主催した稽古会参加者からは高評価を得、普及に繋がっています。

本年度春の褒章におきまして、埼玉県剣道連盟名誉会長大久保和政先生が「旭日双光章」を受賞されました。この事は本連盟にとって大変な栄誉であり、会員の皆様とともにお祝い申し上げます。さらに、４月20日に名古屋で開催された「第23回全日本選抜剣道八段優勝大会」において飯能剣道連盟の井口清選手が堂々の準優勝に輝きました。７月13日には「第17回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会」で埼玉県チームが２年ぶり３回目の優勝、３年連続決勝戦進出という快挙を成し遂げました。

近年、剣道人口の減少対策やそれに伴う財政検討などといろいろな課題が本連盟に限らず、剣道界には存在しています。本連盟では「剣道人口の減少対策」としては小・中・高・道場連盟やスポーツ少年団など青少年の指導に携わる先生方にも参加をいただき、本連盟内にプロジェクトチームを発足させました。様々な課題解決のために加盟団体と連携を密に、協力体制を万全とし、今後も対応していきたいと考えています。

さらに、社会貢献ができる人材の育成を視野に入れながら、これからも全日本剣道連盟が説く「剣道は剣の理法の修錬による人間形成の道である」という理念を守り、活動していくことが未来永劫につながると考えています。

結びに、今後、本連盟に対し、引き続きご理解、ご指導をお願い申し上げるとともに、会員の皆様の更なる充実したご活躍、ご発展を祈念し挨拶とさせていただきます。

叙　勲

埼玉県剣道連盟　名誉会長　範士八段　大久保　和政

令和７年春の叙勲に際し、はからずも旭日双光章受章の栄に浴しましたことは身に余る光栄であります。

５月12日、文部科学大臣から勲記勲章の伝達を受け、引き続き皇居に参内して天皇陛下に拝謁の栄誉と労いのお言葉を賜り万感の極みでありました。

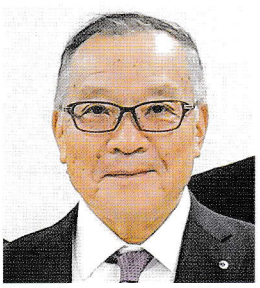
この栄誉は、偏に埼玉県剣道連盟の皆様から賜りましたご指導とご協力、そして皆様の輝かしいご功績の積み重ねが評価されたものであり深く感謝申し上げます。

私は幼少の頃、病弱であったため父の勧めで剣道を始め、諸先生・先輩方のご指導を受け、剣友の皆様と切磋琢磨しながら剣道一筋の人生を歩ませていただき、国民体育大会で選手・監督・埼剣連会長として５回の優勝、韓国世界大会ではコーチとして日本の優勝に貢献できたことなど数々の栄誉に携わることもできました。

剣道は日本古来の伝統文化であり、剣道人はこれを受け継いでいかなければなりません。剣道を取り巻く環境は厳しいものがありますが、私のこの度の栄誉がその一助になれば幸甚であります。

範士受称「百錬自得」

浦和剣道連盟　佐藤　義則



令和７（2025）年５月、全日本剣道連盟より栄誉ある「剣道範士」の称号を拝受させていただきました。身に余る光栄と感謝いたしております。これも偏に諸先生方をはじめ、諸先輩、剣友の皆様の永年にわたるご指導とご支援のお陰と心より厚く御礼申し上げます。私の剣道との出会いは小学５年生の時、父が骨董屋から古い剣道具を買ってくれたことに始まります。昭和47（1972）年、福島県伊達市から埼玉県に移住し教職の道へ進み、常盤中、大谷場中、埼玉県立武道館、教育行政などに携わり、恵まれた環境の中での54年間の今があります。特に、全日本剣道連盟、日本武道館、全日本学校剣道連盟の諸事業（中学校武道必修に伴う研修、部活動指導者研修）において長年にわたり関りを持たせていただいております。今後は称号に恥じないよう、なおの一層の精進を重ね剣道発展のため微力を尽くす所存であります。

範士受称「師とのめぐり逢い」

北本剣道連盟　田中　宏明

この度、公益財団法人全日本剣道連盟より図らずも剣道範士の受領の栄に浴しましたこと、心より感謝申し上げます。国士舘大学を卒業し、縁あって北本市に本山を持つ宗教法人解脱会の運営する解脱錬心館にお声がけを頂き、当初２年だけの約束でお世話になるはずが、かれこれ44年の歳月が経過致しました。その間、毎日子供達と稽古に励むと共に、運よく素晴らしい先生方にご指導を仰ぎ、特に錬心館名誉館長であられた（故）佐藤　顕先生、（故）楢崎正彦先生、そして最高師範の大久保和政先生からは大所高所から厳しくも暖かいご指導を賜り、未熟ながらも先生方の後ろ姿に学び、足りないながらも長く続けてきたことがこの度の受領に繋がったものと心より感謝申し上げる次第であります。今後は、埼剣連はもとより広く剣道界の発展の為に微力ではありますが更に精進努力して参る所存でありますのでご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

海外剣道事情

FY2024ハンガリー居合道講習会

居合道範士　佐藤　忍

2024年５月30日から６月８日まで、ハンガリーのブダペストにおいて居合道全剣連派遣講師として行って来ました。ヨーロッパ派遣はフランス（ベルサイユ）に次ぐ４回目で、現在ロシアとウクライナの戦争の影響でロシア上空を飛べないため、羽田空港からハンガリーまでドイツのフランクフルト経由で約15時間程かかりました。

ブダペストは大変美しい自然と歴史が融合した都市です。ドナウ川が市を二分し、ブダとペストの両地域を結んでいます。春から夏にかけて自然は特に美しく、緑豊かな公園や庭園が市内に点在し、中心にあるシティパークやドナウ川沿いの散歩道は地元の人々に大人気です。

私が出会ったハンガリーの人々は、歴史と文化への誇りが非常に強く、伝統や家族を大切にし、そしておもてなしの心を持っています。

我々日本人との思想の違いとしては、個人に重きを置き、自己表現を大切にする傾向にあるように感じます。対照的に日本人には集団の調和を重んじる文化があります。このような違いを理解し学び合う事が、異文化交流をより深いものにし大切なのではないかと思います。

この講習会には約17ヶ国から100名を超える講習生が参加し、多国籍の人々と交流を通じて学びあう貴重な機会となりました。

指導内容としては、基本動作、体捌き、足捌き、抜き付け、切り下し、血振り等を詳しく、更には「攻めのある居合」とはどのように行うのか実演、指導にあたりました。

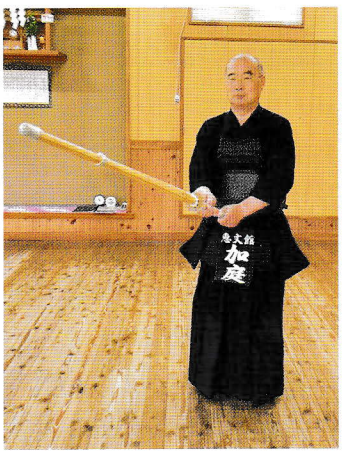
居合道は真剣を使った真剣勝負であり、その修錬は単なる技術の習得にとどまらず、人間形成の道でもあります。

剣道理念には「剣の理法の修錬による人間形成の道」とあります。更に「人と争わず、人を許す」と言う精神が根底にいきています。これらの教えは、日常生活にもいかされるべきものであると思います。

今回このような機会を頂きました埼玉県剣道連盟に心より感謝申し上げます。

「私の修業時代」

久喜剣道連盟　加庭　栄之助



剣道を始めたのは、中学生（Ｓ43年）からで、現在は鷲宮剣道クラブと故戸賀崎正道先生が再興された神道無念流戸賀崎練武道場恵文館（現在は九代戸賀崎正彦館長）でお世話になっています。私は家庭の事情（高度経済成長下の人手不足）で大学では剣道から離れておりましたが、地元に剣道クラブが出来たことで再開することが出来ました。当時のクラブには、大学で主将だった方や実業団の東レ滋賀の剣道部に在籍していた経験を持つ先輩も居り、私も小中学生の面倒を見ながらそんな先輩方と稽古が出来たことを嬉しく思っておりました。また、日曜日の稽古後は、所謂第二道場で皆さんの話を聞くのが楽しみでした。私が20代後半の頃に、明治神宮内の至誠館道場に通われていた先輩から秩父で合宿するから来ないかと誘われ、初めて森島健男先生に掛かりました。感想は無我夢中で掛かったので、覚えていません。

恵文館では、前館長が関東学生剣道連盟のＯＢ会である敬友会の稽古会を毎年開催されておりましたので、その都度稽古会に参加させて頂き、高名な先生方に稽古を付けて頂けたことは、私にとって貴重な経験となりました。

また、前館長は関東学生剣道連盟の海外交流事業の一環として、学生だけでなく一般の剣道愛好家にもフランス共和国の剣道大会（ヨーロッパ各国が参加）である、フランスオープン剣道大会や３年ごとに開催されるパリ大会に門戸を開いてきました。私も2002年～2009年まで、未熟ですが大会に協力するために参加させて頂きました。また、フランス剣道連盟顧問の好村兼一先生（1970年～在仏）との出会いは、フランスの剣道やパリでの出稽古を通して色々と勉強になり、私の見識を広げるうえで大変意義あるものとなりました。

さて、私にも八段受審の資格ができた頃、取り敢えず東京だけ挑戦しようと思っていました。心の中では、「どうせ合格は無理」と思っていたからです。

そんな折、すでに八段に合格していた埼玉県警のある先生に、「何をぐずぐずしているのだ。」と云われ、「なんで自分なんかに。」と思うと同時に、私の剣道を認めてくれているのかなと嬉しい気持にもなりました。私は、その言葉が大きなきっかけとなり、八段へ向けて本格的な準備に入りました。東京も京都も受審するようになり、回数を重ねるごとに、相手に対する対応（体力も含めて）だけでは今の自分には限界がある事を知りました。一番に知っているはずの自分を、一番知っていないと思うようになりました。なんでそこで打つんだ、何でそこで打たないんだと、今まで先生方や先輩方から何度も言われてきた「先を掛ける」「打って勝つのでは無く、勝ってから打つ」と言うことを少しだけ理解できたような気がしました。それから三年、何の剣歴も無い私ですが埼玉県剣道連盟の八段の末席を汚すことになりました。

わたしも七十歳を越え、色々と体に不都合が出てきておりますが、交剣知愛・生涯剣道を目標に、一日でも長く稽古ができるように精進して参りたいと考えています。

第17回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会　優勝を遂げて

監督　堀川　智子

令和７年７月13日（日）、日本武道館で開催された「第17回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会」において、埼玉県は決勝で茨城県を破り、２年ぶり３度目の優勝を果たしました。

試合結果としては、第２シードの後、２回戦で青森県に３-０で勝利、３回戦、実力者揃いの熊本戦は厳しい戦いになりましたが、先攻した勝数を守り切り２-１で勝利、４回戦は兵庫県に３-２、準決勝の岡山戦も厳しい戦いが予想されましたが、中堅渡會選手が２本勝ちを決めた時点で、副将・大将戦を待たずに

3-1で勝利が決まりました。決勝の茨城戦では選手一人ひとりが躍動し、5-1で勝利し昨年の雪辱を見事に果たしました。

高校生の江田選手、大学生の森選手の気迫のこもった試合は常にチームに勢いをもたらしてくれましたし、小川選手、志藤選手のトップレベルの技とキレ、渡會選手の攻めと巧みな技術は圧巻でした。荒井選手と大坪選手は常に明るく、チームの気持ちを一つにまとめ、勝利へ牽引してくれました。決勝の大坪選手が決めた豪快な面には感動しました。

このような結果が残せましたのも、埼玉県剣道連盟の多大なる御支援、強化委員の先生方の御指導と激励、各所属団体の先生方・剣友の皆様の日頃の御指導と御支援のおかげと深く感謝申し上げます。また大会当日、応援に駆けつけていただきました栗原会長はじめ爲谷副会長、齋藤前副会長、増田専務理事、佐藤理恵先生、金子優香理先生、剣道連盟役員の先生方、御家族、御関係の皆様、星野高校の清水先生、生徒の皆さんから、多くの声援をいただき誠にありがとうございました。皆様の笑顔と声援が大きな力となりました。

選手の皆さん、素晴らしい試合と感動をありがとうございました。皆さんの努力とお人柄に心より敬意を表し、優勝の報告とさせていただきます。

[選手紹介]
先鋒 江田彩春（星野高校２年)、
次鋒 森　柚乃（日体大２年)、
５将 小川梨々香（伊田テクノス)、
中堅 志藤綾子（伊田テクノス)、
３将 渡會愛梨（筑波大付属坂戸高教員)、
副将 荒井貴子（白岡中教員)、
大将 大坪園江（埼玉県警察学校）

全日本選抜剣道八段優勝大会に出場して

飯能剣道連盟　井口　清

この度、「第23回全日本選抜剣道八段優勝大会」において、準優勝という成績を収めることができました。これもひとえに、日頃からご指導いただいている先生方、一緒に稽古している学生、また陰で支えてくれている家族等、すべての方々のお陰であると思い、感謝の念に堪えません。

「明治村剣道大会」を継承した本大会は今回で23回目を迎えており、前身の大会を含め埼玉県にゆかりのある多くの先生方がご活躍されてきた大会で、私は今回２回目の出場となりました。初出場の前回大会ではアキレス腱断裂というまさかのアクシデントで無念の途中棄権、１年後の復帰を目指しての療養、リハビリの期間を経、今回選手として選んでいただけたことに嬉しさと感謝の気持ちをもって臨んだ大会でした。

１回戦から名だたる先生方との対戦で、勝算などあるわけもなく、とにかく自分の剣道を出し切ることだけに集中し試合に臨みました。試合において怪我の影響といえば、いまだに痛みもあれば、思うように動かない時もありますが、その分いつもよりも慎重に、極力アキレス腱に負担のかからないような技を組み立てていたように思います。

決勝戦では、大会２連覇中の栄花直輝選手との対戦となりました。栄花選手とは七段戦の決勝戦以来の公式戦での対戦で、七段戦の雪辱を晴らすべく、また何とか連覇を阻止したい気持ちで臨みましたが、力及ばず敗戦となりました。

準優勝という結果に満足する気持ちはありませんが、このような舞台で、名だたる先生方と真剣勝負をさせていただいたことは、私の剣道人生の中でも貴重な経験で、一生の財産になるものだと思っています。

剣道の修業に終わりはありません。生涯修行の精神で、少しでも理想の剣道に近づけるように、また、日本の伝統文化である剣道を正しく継承できるよう日々研鑽していきたいと思っております。

生涯剣道人を訪ねて

羽生剣道連盟　秋谷　庫治

Q１　いつ頃、何歳から剣道を始められましたか

Ａ１　私は昭和28年、中学生一年生（13歳）の時より始めました。初めは撓（しない）競技で袋竹刀十六割でした。

Q２　剣道を始めたきっかけは何ですか。

Ａ２　部活の紹介があり、剣道の先生が着任（故範士橋本栄一先生）され、旧須影村砂山出身で、昔の剣士神道無念流岡田十松先生の話を聞いたことがきっかけでした。

Q３剣道を長年続けられている秘訣は何ですか

Ａ３　剣道が好きで愛着の気持ちをもつことです。

Q４　稽古は週何日くらいされていますか。

Ａ４　現在（84歳）、防具はつけませんが、週２日（水、金の夜）羽生市の体育館剣道場で剣士たちの稽古を観ています。４年前の80歳ぐらいまでは、週２回程度稽古を行っていました。

Q５　稽古で気を付けておられることは何ですか。

Ａ５　稽古では相手がいらっしゃるので失礼の無い気持ちで臨んでいます。

Q６　今までの剣道の関わりの中でよい思い出は何ですか

Ａ６　試合での勝ちあがり、決勝戦までの個人戦、団体戦の思い出です。特に、高校時代に、インターハイ（団体戦）で決勝まで勝ち進んだことです。

Q７　好きな言葉（座右の銘）、好きな食べ物は何ですか

Ａ７　「剣耕」（けんこう）・・・剣を耕す
私は農家なので、この言葉を愛用しています。
私の好きな食べ物は、牡蠣フライです。

Q８　その他

Ａ８　剣道のよき先生方に恵まれたことです。故範士九段小沢丘先生、神道無念流奥澤弋郎先生、元不動岡高校剣道部顧問諸貫五三郎先生、大学時代の範士九段岸川辰次先生など、たくさんの先生方よりご指導ご鞭撻、稽古等を頂いたことです。また、趣味として先人の資料調査（目録、免許皆伝書、神社の記念碑、奉納額、遺跡の石碑等）を現地まで足を運び、調べることです。

令和７年大会記録（１月～７月）

―全国大会―

○第73回全日本都道府県対抗剣道優勝大会
（R７.４.29）
・２回戦　宮城県
２-２（本数負け）

○第47回全日本高齢者武道大会
（R７.６.２）
・寿Ｂ　優勝
渡辺　秀男（東松山）
内閣総理大臣杯獲得
・団体　第２位

○第17回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会（R７.７.13）
・２回戦　青森県３－０
・３回戦　熊本県２－１
・４回戦　兵庫県３－２
・準決勝　岡山県３－１
・決　勝　茨城県５－１
（２年ぶり３回目の優勝）

―関東大会―

○第73回関東高等学校剣道大会
（R７.６.６～９）
・女子団体　第２位　星野高校
・男子個人　第２位
熊田　圭佑（城北埼玉）

―全国大会予選―

○第73回全日本都道府県対抗剣道優勝大会予選会（R７.２.23）
先鋒　酒井　新太（本庄第一高）
次鋒　相川　琥鉄（本庄）
５将　山﨑　健多（吉川）
中堅　貝塚　脩悟（高校）
３将　伊藤　勇太（警察）
副将　竹越　充（川口）
大将　菊地　博之（警察）

○第37回ねんりんピック予選
（R７.４.19）
先鋒　細川　昭浩（川越）
次鋒　小川　明巳（川口）
中堅　長谷川克己（越谷）
副将　根岸　正樹（本庄）
大将　竹内　由信（入間）

○第17回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会予選会（R７.４.19）
先鋒　江田　彩春（星野高）
次鋒　森　柚乃（熊谷）
５将　小川梨々香（東松山）
中堅　志藤　綾子（東松山）
３将　渡會　愛梨（高校）
副将　荒井　貴子（久喜）
大将　大坪　園江（警察）

○令和７年度全国教職員剣道大会予選（R７.５.24）
・団体
先鋒　遠藤　啓太（戸田東中）
次鋒　貝塚　脩悟（城北埼玉高）
中堅　泉　和毅（川口北高）
副将　齊藤　洋平（大宮東高教頭）
大将　津坂　宗秀（与野高）
・個人
男子個人
泉　和毅（川口北高）
女子個人
本郷　利枝（秀明英光高）

○第79回国民スポーツ大会成年の部予選（R７.５.31）
・男子
先鋒　狩野　泰征（大宮）
次鋒　伊藤　勇太（警察）
中堅　橋本　桂一（東松山）
副将　内田　貢市（東松山）
大将　菊地　博之（警察）
・女子
先鋒　小川梨々香（東松山）
中堅　志藤　綾子（東松山）
大将　村山　千夏（警察）

○第79回国民スポーツ大会少年の部最終予選（R７.６.28）
・男子
監督：森田　一成（岩槻高）（教）
先鋒　南雲　日暖（埼玉栄）
次鋒　酒井　新太（本庄第一）
中堅　及川　大佑（山村学園）

副将　寺井　　輝(山村学園)
大将　熊田　圭佑(城北埼玉)
・女子
監督:伊与田　毅(大宮東高)(教)
先鋒　白井里緒菜(本庄第一)
次鋒　浦野　葵衣(星野)
中堅　柳　　瑠里(淑徳与野)
副将　江田　彩春(星野)
大将　樋口　優衣奈(星野)

○インターハイ予選・個人
(R7.6.20)
・男子個人
第1位　寺井　　輝(山村学園)
第2位　和藤慎之介(川越)
・女子個人
第1位　江田　琴音(星野)
第2位　柳　　瑠里(淑徳与野)

○インターハイ予選・団体
(R7.6.23・24)
・男子団体
第1位　本庄第一
・女子団体
第1位　本庄第一

○第20回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会予選会(R7.7.12)
第1位　小薬　美心(川口)
第2位　関根剛士朗(北本)
第3位　鈴木　智敬(川口)
第3位　大澤　健吾(秩父)
第5位　内田　智規(浦和)
第6位　野路弓之助(所沢)
第7位　本山　範和(大宮)
第7位　小林　優菜(北本)
(上位5名が全国大会出場)

―関東大会予選―

○第73回関東高等学校剣道大会予選会(R7.5.7)
・男子個人
第1位　及川　大佑(山村学園)
第2位　西野正五郎(立教新座)
第3位　北脇　大翔(山村学園)
第3位　熊田　圭佑(城北埼玉)
・女子個人
第1位　江田　彩春(星野)
第2位　岩下　奈央(不動岡)
第3位　柳　　瑠里(淑徳与野)
第3位　浦野　葵衣(星野)
・男子団体(上位7校本大会出場)
(R7.5.12・13)
第1位　城北埼玉
第2位　立教新座
第3位　松山
第4位　本庄第一
第5位　埼玉栄
第5位　山村学園
第7位　寄居城北
・女子団体(上位7校本大会出場)
第1位　星野
第2位　本庄第一
第3位　淑徳与野
第4位　川口市立
第5位　蕨
第5位　東農大三
第7位　昌平

―県内大会―

○第34回埼玉県高齢者剣道大会(R7.5.24)
・75歳以上の部
第1位　立山　健治(朝霞)
第2位　兼高　　均(春日部)
第3位　渡辺　秀男(東松山)
第3位　久保　和秀(西入間)
・70歳以上～75歳未満の部
第1位　福田　宗可(川越)
第2位　狩野　清志(熊谷)
第3位　磯部　　清(西入間)
第3位　原口　　亨(蕨)
・65歳以上～70歳未満の部
第1位　手島　隆治(熊谷)
第2位　佐々木　幸(羽生)
第3位　荒川　良一(入間)
第3位　中山　良彦(熊谷)
・60歳以上～65歳未満の部
第1位　小川　明巳(川口)
第2位　斎藤　信一(大宮)
第3位　篠崎　仁志(東松山)
第3位　鈴木　暁生(朝霞)

○第55回埼玉県居合道大会(R7.7.13)
・七段の部
第1位　鴨志田　修(高校)
第2位　青木　四郎(久喜)
第3位　大森健一郎(大宮)
・六段の部
第1位　安澤　健則(朝霞)
第2位　中島佑規子(久喜)
第3位　平田　陽介(東入間)
第3位　阿部　好弘(浦和)
・五段の部
第1位　高橋　真樹(飯能)
第2位　清水　　清(鴻巣)
第3位　松﨑　隆文(所沢)
第3位　宮﨑　富裕(飯能)
・四段の部
第1位　佐藤　　凜(草加)
第2位　佐藤　　豪(草加)
第3位　野澤　　茂(鴻巣)
第3位　江森　　哲(鴻巣)
・三段の部
第1位　西田　笙玄(浦和)
第2位　関口　英治(小川)
第3位　小松　麻衣(杉戸)
第3位　田中　耕治(東入間)
・二段の部
第1位　宮﨑　陽平(大宮)
第2位　川﨑　真緒(高校)
第3位　大川　　翼(高校)
第3位　西條　義将(東入間)
・初段の部
第1位　小松　千新(杉戸)
第2位　松本歩乃奏(浦和)
第3位　宮﨑　優心(大宮)
第3位　山本　雄琳(高校)

称号・段位取得者一覧(令和7年1月～7月)

称　号

剣道　範士
令和7年5月6日
佐藤　義則(浦和)
田中　宏明(北本)

剣道　教士
令和7年5月6日
梅田　浩二(春日部)
井上　博章(所沢)
古原　　誠(所沢)
栗原　広行(東入間)
森岡　高則(入間)
川﨑　克子(飯能)
秋山　匡伯(東松山)
伊澤　　弘(川口)
池澤　英明(蕨)
門馬　三郎(蕨)
渡辺　健夫(浦和)
松本翔太朗(浦和)
眞中　義治(大宮)
木村　一彦(大宮)
手島　隆治(熊谷)
大澤　正樹(寄居)
中村　浩之(警察)
生沼　　学(警察)
関河　　諒(高校)
近藤　　毅(高校)
髙山　勝彦(大学)

剣道　錬士
令和7年5月6日
秋元　　享(草加)
宇佐美美穂(越谷)
渡邊　淳子(吉川)
前田　恭佑(春日部)
内田　　武(久喜)
佐々木　幸(羽生)
岡田　　航(所沢)
小島　　直(狭山)
小野　勝三(狭山)
八木　良典(川越)
神尾あきの(西入間)
須永　雄也(川口)
山本　相子(川口)
飯田　裕貴(蕨)
加藤　正史(蕨)
橋本　信之(戸田)
工藤　健吉(朝霞)
山﨑　維人(朝霞)
福井　敏雄(浦和)
野口　勝敏(浦和)
金澤千鶴子(浦和)
古瀬　義彦(浦和)
奥村　拓也(大宮)
小野　洋輔(大宮)
斉藤　達郎(大宮)
平野　宜男(大宮)
逸見　厚志(大宮)
宮谷　定雄(大宮)
小川　智広(大宮)
小池　泰三(上尾)
加藤千鶴子(鴻巣)
木野内悠介(鴻巣)
長田　裕暉(鴻巣)
浅見　武司(寄居)
千島　京香(秩父)
甲斐　靖幸(警察)
大坪　園江(警察)

居合道　錬士
令和7年5月3日
柏下　　大
松永　博文

杖道　教士
令和7年5月3日
松浦富士雄

杖道　錬士
令和7年5月3日
朝比奈辰樹
木村たか子
杉﨑　利春

剣　　道

七段(山梨)
令和7年2月15日
安藤　和弘(幸手)
坪井　忠美(加須)
仲　　稔(行田)
栗原　昌之(所沢)
野尻　昌利(東入間)
雙木　茂明(入間)
鈴木　光代(入間)
久野　公治(川越)
北島　史智(朝霞)
小谷野隆夫(朝霞)
田口　陽二(浦和)
木野内悠介(鴻巣)
大澤　尚子(北本)
持田　祥宏(深谷)
松原　義明(本庄)
小林　健治(警察)

六段(山梨)
令和7年2月16日
川端　康子(草加)
若松　　忠(草加)
齋藤　一将(八潮)
横村　淳一(所沢)
河合　　完(入間)
粟田　康彦(西入間)
塔ケ崎哲也(西入間)
大熊　広一(小川)
吉谷　泰一(浦和)
小谷野富雄(鴻巣)
新井　克弘(秩父)
福浦　一貴(警察)
富田　晋仁(警察)
永野　雅大(高校)

六段(京都)
令和7年4月29日
鈴木　克也(八潮)
関根　勇人(朝霞)

七段(京都)
令和7年4月30日
大野　洋一(草加)
田上　宏典(草加)
小林　竜也(北本)
柴田　金夫(熊谷)
荻野　浩和(熊谷)

七段(愛知)
令和7年5月10日
早乙女聡子(久喜)
石田　　知(久喜)
古屋三奈子(小川)
根本　　弘(川口)
原田　和彦(戸田)
佐竹　康彰(戸田)
小野　道也(戸田)
小泉　達彦(朝霞)
小黒　尚哉(朝霞)
関根　裕次(浦和)
碇　　誠基(大宮)

六段(愛知)
令和7年5月11日
山﨑　夏樹(東入間)
佐々木裕一(東入間)
浅野　智央(入間)
尾﨑　準哉(川口)
赤塚　浩二(朝霞)
松島　秀和(浦和)
塩野祐希子(上尾)
藤代　　翔(鴻巣)
小井　将司(高校)

五段
令和7年3月9日
吉見町民体育館
森　　達也(八潮)
森　　里美(八潮)
首藤　裕治(越谷)
小島　彩楓(越谷)
川合　大祐(越谷)
河端　悠人(吉川)
梶原　　健(春日部)
大井　浩之(春日部)
淺野由香里(春日部)
関　　良一(久喜)
桑島　　厚(幸手)

佐藤サユリ(加須)
宮﨑　大(羽生)
清水　弘之(羽生)
小巻　正幸(東入間)
内藤　豊光(狭山)
末田　敏雄(川越)
梅林　博文(東松山)
小野　貴士(戸田)
安河内拓己(朝霞)
安河内和己(朝霞)
佐々木貴代(朝霞)
伝川　貴洋(朝霞)
畑中　雄太(朝霞)
西　雅弘(浦和)
小田嶋　靖(大宮)
石井　尚輝(大宮)
野澤　幸子(上尾)
伊東　颯真(熊谷)
中嶋　仁(熊谷)
岩佐　毅(警察)

五段
令和７年７月５日
大宮武道館
西村　健一(草加)
土田洸太朗(草加)
尾又　桐吾(越谷)
堀切　眞弓(吉川)
馬目　歩美(春日部)
大橋　重典(久喜)
末松　毅(久喜)
小林　正実(所沢)
元井　大和(狭山)
亀田　太一(川越)
生地　志有(川越)
福味　進(川越)
古賀　恵弥(東松山)
大野　光美(東松山)
田代　直明(東松山)
吉野　勲(川口)
春日川洋輔(浦和)
小暮　康紀(浦和)
島野　吉成(浦和)
向山　雄基(大宮)
速水　善朗(大宮)
都丸　慶太(大宮)
藤田　雄一(大宮)
堀田慎一郎(大宮)
本原　大将(大宮)
鈴木　幸司(大宮)
岡田　眞一(上尾)
中西　徹(上尾)
土井　大紀(上尾)
新井　伶奈(北本)
野澤　昌滉(秩父)
梓澤　和樹(警察)
小向　貴士(警察)
柳澤　康平(警察)
栗澤　認(高校)

四段
令和７年３月９日
吉見町民体育館
小川　優太(草加)
村田　清安(越谷)
平吹　侑也(越谷)
ネイサンウィルソン(久喜)
金子　隆輝(久喜)
永井　雄祐(幸手)
山﨑　克彦(幸手)
久岡　聖史(羽生)
清水　真(羽生)
宮川　千草(所沢)
渡邉　健一(所沢)
城澤　佑太(東入間)
渡辺　暁登(狭山)
花房　和宏(入間)
細渕　奨馬(入間)
小谷野　晃(入間)
大沢　鷹樹(入間)
鈴木　孝輔(入間)
浅田　優空(川越)
高垣　興己(西入間)
畠山　潤子(西入間)
美田　一機(川口)
樋口　龍也(戸田)
阿蘇　寿杏(朝霞)
近藤　共泰(朝霞)
野﨑　勝聡(朝霞)
荻野　勇人(浦和)
加藤　遙(浦和)
今村美友希(浦和)
細野　真希(浦和)
伊東　恭聖(大宮)
秋葉　優命(大宮)
神山　聡士(大宮)
井上　飛鳥(上尾)
下田　涼香(上尾)
五味　大晴(上尾)
長谷　真生(上尾)
長谷部秀和(上尾)
井上　裕子(鴻巣)
根岸亜由美(鴻巣)
荒井　大輔(本庄)
三ツ目圭汰(警察)
小関　優斗(警察)
遠藤　宏輔(大学)
金子　礼(大学)
山本菜々美(大学)
松井　龍希(大学)
瀧澤　輝(大学)
鶴田　侑也(大学)
濱野　克海(大学)
徳永康志朗(大学)
髙橋　勇輝(大学)

四段
令和７年７月５日
大宮武道館
高橋　陸(八潮)
小幡　快行(八潮)
中瀬　宏樹(越谷)
中村　直樹(越谷)
牧戸　快(越谷)
伊香　視史(吉川)
三田　喜子(吉川)
栗原　百慧(春日部)
石郷岡　健(春日部)
川堀　裕司(久喜)
榊枝　来海(所沢)
市來由紀子(所沢)
岩田　浩之(東入間)
高島　一晃(東入間)
野中　昭那(東入間)
秋池　哲也(入間)
細井　駿音(西入間)
内田かさね(西入間)
小林　大輝(東松山)
真島　聡士(東松山)
白石　恵太(東松山)
種本　雄太(川口)
住野　俊光(川口)
速水　翔太(川口)
有村　幸政(川口)
髙橋　幸恵(川口)
岡田　雄真(蕨)
篠　暢子(蕨)
服部　慎二(蕨)
下鳥　文也(戸田)
持田　孝介(戸田)
加藤　僚基(朝霞)
工藤　旬裕(朝霞)
藪上　和夫(朝霞)
佐藤なるみ(浦和)
小野　雅彦(浦和)
新田　雅斗(浦和)
竹中　理恵(浦和)
柴田　智広(大宮)
大西奈南三(大宮)
野口　裕司(大宮)
奥田　直也(鴻巣)
大泉　波音(北本)
柿沼　瑳介(熊谷)
久保　尚子(熊谷)
小林　彩乃(深谷)
太幡　泰(秩父)
中村　健吾(小鹿野)
小林　知史(警察)
上田　由奈(警察)
上田亜美香(警察)
瀬戸　芳宜(警察)
大山　颯斗(警察)
工藤　丈士(大学)
太田垣大智(大学)
友清奈那子(大学)

居合道
七段
令和７年３月２日
梶田　安政

六段
令和７年６月27日
森山　真徳
野口　由夫
新井　正雄

五段
令和７年４月６日
新留　麻美
原田　将吾
神　英雄
原田　健二

四段
令和７年４月６日
高野　竜
前山　明輝

杖道
六段
令和７年１月24日
山田　優希

五段
令和７年３月16日
三角　幸生
山口　隆一
青木　四郎
中島佑規子

四段
令和７年３月16日
戸村　修
内山　亮一

令和７～８年度　公益財団法人　埼玉県剣道連盟役員（順不同）

名誉会長	大久保和政			
相談役	豊嶋　正夫	山中　茂樹		
顧問	関口　善行	奥田　昌利	根岸　一雄	川合　育三
	神山　芳男	齋藤　茂樹（新任）	浅見　真一（新任）	
会長	栗原　憲一			
副会長	爲谷　健一	大澤　規男（新任）	田中　宏明（新任）	大河原直弘（新任）
専務理事	増田　吉男			
業務執行理事	佐藤　義則	佐藤　理恵		
理事	矢部　勇介	堀川　智子（新任）	関根　剛	加庭栄之助
	内野　尚美（新任）	北村　尚義	小坂井啓二	久保　和秀
	齋藤　俊博	佐々木英二（新任）	内田　明	中村　好一
	穂谷野一敏	半田　栄一	田中　宏明	根岸　正樹
	小島　光正（新任）	藤田　利美	森田　智裕	佐藤　忍
	瀧澤　利行	伊田登喜三郎	浅見　雅代	金子優香理
外部理事	塚越　卓			
監事	會田　紳次	柳澤　昌秀		
新たに選任された評議員　４名				
	佐久間　譲（大宮）	小谷野富雄（鴻巣）	舩水　学（大学）	嶋田　貴文（警察）

編集後記

今年度、理事の改選が行われ、広報啓発部会も部会長と部員２名の異動がありました。剣風24号の校正作業の中で予定していた紙面の割り振りに、「全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会埼玉県チーム優勝」に関わる記事を差し込むといううれしい編集作業が入りました。広報啓発部会ではこれからも会員の皆様のご活躍を様々な視点から広報できればと思っております。

（編集責任者　大河原直弘）